

# 【近畿農政局長賞：地域の平均単収からの増収の部】（株） 眞名井 （滋賀県米原市）

| 品種              | 作付面積    | 単収        | 地域の単収との差(地域の平均単収)                         |
|-----------------|---------|-----------|-------------------------------------------|
| ミズホチカラ<br>モミロマン | 約14.5ha | 714kg/10a | 198kg/10a(※ 516 kg/10a)<br>※作況補正後の地域の平均単収 |

## 【経営概況】

- 約20年前に農家の跡継ぎとして農業開始し、平成30年に米原市宇賀野地区で法人を設立（従事者計4名）、経営面積約50ha。
- 栽培品目 主食用米、飼料用米、酒米
- 所有農業機械は、トラクター5台、コンバイン6条1台、田植機8条1台を所有し、機械の格納庫と作業場を兼ねた倉庫を所有。

## 【作付品目】

- ・主食用米：コシヒカリ、あきたこまち等6品種  
31.3ha
- ・酒米（山田錦）  
5.2ha
- ・飼料用米：ミズホチカラ  
7.9ha
- モミロマン  
6.7ha
- ・保全管理田  
1.0ha
- 計  
52.1ha

## 【取組のきっかけ】

- 近隣農家の高齢化にともなう不作付地の発生を防止するため、借地により農地を集積し経営規模を拡大。
- 経営面積が拡大する中で、飼料用米の交付金により経営の安定化が図られることを期待し、10年前から飼料用米の生産に取り組む。
- 多収が期待でき、作期分散を図るため「ミズホチカラ」、「モミロマン」を栽培。

## 【取組概要】

- 水稻は作期の異なる主食用米（6品種）、飼料用米（2品種）により、田植えは4月下旬から6月上旬、収穫は8月下旬から11月上旬と労働力分散を図っている。
- 生産コストの低減を図るため、稲わらをすき込み、田植同時側条施肥（1回）を実施するとともに、作期分散によりコンバイン及び田植機は各1台で作業を実施している。
- 飼料用米は、ドローンによる防除を実施するとともに、立毛乾燥（籾水分を20%まで落とす）により、乾燥経費を節減している。
- 更なる経営の安定化を図るため、新たに令和5年産から麦及び麦跡大豆（3.1ha）の作付けを計画している。

